

死亡症例の集計

平成21年6月16日安全対策調査会
資料9-3

平成21年6月3日タミフル臨床WG
資料7-3

死亡症例(全例)における患者背景、発現時期に関する集計

患者年齢別①

	症例数 (%)	
10歳未満	11	14.5%
10代	5	6.6%
20代	6	7.9%
30代	10	13.2%
40代	4	5.3%
50代	10	13.2%
60代	8	10.5%
70代	9	11.8%
80代	9	11.8%
90代	4	5.3%
総計	76	100.0%

性別

	症例数 (%)	
女性	26	34.2%
男性	50	65.8%
総計	76	100.0%

インフルエンザウイルス型別

	症例数 (%)	
A型インフルエンザ	32	42.1%
B型インフルエンザ	12	15.8%
不明	32	42.1%
総計	76	100.0%

副作用発現時期別①

	症例数 (%)	
2001	4	5.3%
2002	6	7.9%
2003	2	2.6%
2004	7	9.2%
2005	20	26.3%
2006	14	18.4%
2007	17	22.4%
2008	2	2.6%
2009	2	2.6%
不明	2	2.6%
総計	76	100.0%

患者年齢別②

	症例数 (%)	
6歳以下	10	13.2%
7歳から9歳	1	1.3%
10歳から12歳	1	1.3%
13歳から15歳	3	3.9%
16歳から18歳	1	1.3%
19歳以上	60	78.9%
総計	76	100.0%

副作用発現時期別②

	症例数 (%)	
2000-2001シーズン	3	3.9%
2001-2002シーズン	4	5.3%
2002-2003シーズン	4	5.3%
2003-2004シーズン	8	10.5%
2004-2005シーズン	19	25.0%
2005-2006シーズン	15	19.7%
2006-2007シーズン	17	22.4%
2007-2008シーズン	2	2.6%
2008-2009シーズン	2	2.6%
不明	2	2.6%
総計	76	100.0%

シーズン；8月から7月

突然死における患者背景、発現時期に関する集計

患者年齢別①

	症例数 (%)	
10歳未満	10	17.9%
10代	5	8.9%
20代	6	10.7%
30代	10	17.9%
40代	3	5.4%
50代	7	12.5%
60代	7	12.5%
70代	2	3.6%
80代	3	5.4%
90代	3	5.4%
総計	56	100.0%

患者年齢別②

	症例数 (%)	
6歳以下	10	17.9%
7歳から9歳	0	0.0%
10歳から12歳	1	1.8%
13歳から15歳	3	5.4%
16歳から18歳	1	1.8%
19歳以上	41	73.2%
総計	56	100.0%

性別

	症例数 (%)	
女性	19	33.9%
男性	37	66.1%
総計	56	100.0%

インフルエンザウイルス型別

	症例数 (%)	
A型インフルエンザ	25	44.6%
B型インフルエンザ	12	21.4%
不明	19	33.9%
総計	56	100.0%

副作用発現時期別①

	症例数 (%)	
2001	2	3.6%
2002	6	10.7%
2003	0	0.0%
2004	3	5.4%
2005	16	28.6%
2006	10	17.9%
2007	16	28.6%
2008	2	3.6%
不明	1	1.8%
総計	56	100.0%

副作用発現時期別②

	症例数 (%)	
2000-2001シーズン	1	1.8%
2001-2002シーズン	4	7.1%
2002-2003シーズン	3	5.4%
2003-2004シーズン	3	5.4%
2004-2005シーズン	15	26.8%
2005-2006シーズン	11	19.6%
2006-2007シーズン	16	28.6%
2007-2008シーズン	2	3.6%
不明	1	1.8%
総計	56	100.0%

死亡症例(その他)における患者背景、発現時期に関する集計

患者年齢別①

	症例数 (%)	
10歳未満	1	5.0%
10代	0	0.0%
20代	0	0.0%
30代	0	0.0%
40代	1	5.0%
50代	3	15.0%
60代	1	5.0%
70代	7	35.0%
80代	6	30.0%
90代	1	5.0%
総計	20	100.0%

性別

	症例数 (%)	
女性	7	35.0%
男性	13	65.0%
総計	20	100.0%

インフルエンザウイルス型別

	症例数 (%)	
A型インフルエンザ	7	35.0%
B型インフルエンザ	0	0.0%
不明	13	65.0%
総計	20	100.0%

副作用発現時期別①

	症例数 (%)	
2001	2	10.0%
2002	0	0.0%
2003	2	10.0%
2004	4	20.0%
2005	4	20.0%
2006	4	20.0%
2007	1	5.0%
2008	0	0.0%
2009	2	10.0%
不明	1	5.0%
総計	20	100.0%

患者年齢別②

	症例数 (%)	
6歳以下	0	0.0%
7歳から9歳	1	5.0%
10歳から12歳	0	0.0%
13歳から15歳	0	0.0%
16歳から18歳	0	0.0%
19歳以上	19	95.0%
総計	20	100.0%

副作用発現時期別②

	症例数 (%)	
2000-2001シーズン	2	10.0%
2001-2002シーズン	0	0.0%
2002-2003シーズン	1	5.0%
2003-2004シーズン	5	25.0%
2004-2005シーズン	4	20.0%
2005-2006シーズン	4	20.0%
2006-2007シーズン	1	5.0%
2007-2008シーズン	0	0.0%
2008-2009シーズン	2	10.0%
不明	1	5.0%
総計	18	100.0%

シーズン：8月から7月

死亡症例(全例) 主な併用薬剤の内訳

催眠鎮静剤, 抗不安剤	ベンゾジアゼピン系製剤	4
	バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤	1
	その他の催眠鎮静剤, 抗不安剤	2
計		7
抗てんかん剤	ヒダントイン系製剤	1
	その他の抗てんかん剤	2
計		3
解熱鎮痛消炎剤	アニリン系製剤	18
	ピラゾロン系製剤	2
	インドメタシン製剤	2
	フェニル酢酸系製剤	1
	塩基性消炎鎮痛剤	2
	その他の解熱鎮痛消炎剤	15
	パファリン ^{注4)}	1
計		41
抗パーキンソン剤	アマンタジン製剤	1
	ビペリデン製剤	2
	その他の抗パーキンソン剤	1
計		4
精神神経用剤	フェノチアジン系製剤	2
	その他の精神神経用剤	6
計		8
総合感冒剤	非ピリン系感冒剤 (2) ^{注3)}	1
	非ピリン系感冒剤 (4) ^{注3)}	9
計		10
その他の中枢神経系用薬	タルチレリン水和物 ^{注3)}	1
計		1
鎮けい剤	その他の鎮けい剤	2
計		2
耳鼻科用剤	耳鼻科用抗生物質製剤	1
計		1
強心剤	ジギタリス製剤	3
	カフェイン系製剤	1
計		4
不整脈用剤	β -遮断剤	2
	その他の不整脈用剤	3
計		5

利尿剤	抗アルドステロン製剤	2
	その他の利尿剤	4
計		6
血圧降下剤	その他の血圧降下剤	11
計		11
血管拡張剤	冠血管拡張剤	9
計		9
高脂血症用剤	その他の高脂血症用剤	3
計		3
その他の循環器官用薬	ポリスチレンスルホン酸カルシウム ^{注3)}	1
	沈降炭酸カルシウム ^{注3)}	1
計		2
鎮咳剤	デキストロメトर्फアン製剤	2
	その他の鎮咳剤	5
計		7
去たん剤	システイン系製剤	3
	ブロムヘキシシン製剤	3
	その他の去たん剤	8
計		14
鎮咳去たん剤	その他の鎮咳去たん剤	6
計		6
気管支拡張剤	キサンチン系製剤	3
	サルブタモール製剤	1
	その他の気管支拡張剤	10
計		14
その他の呼吸器官用薬	プロピオン酸フルチカゾン ^{注3)}	1
計		1
止しゃ剤、整腸剤	活性生菌製剤	6
	その他の止しゃ剤、整腸剤	1
計		7
消化性潰瘍用剤	H ₂ 遮断剤	10
	その他の消化性潰瘍用剤	15
計		25
健胃消化剤	その他の健胃消化剤	5
計		5
制酸剤	無機塩製剤	5
計		5
下剤、浣腸剤	植物性製剤	4
計		4
利胆剤	胆汁酸製剤	1
計		1
その他の消化器官用薬	他に分類されない消化器官用薬	4

計		4
甲状腺、副甲状腺ホルモン剤	甲状腺ホルモン製剤	1
計		1
副腎ホルモン剤	エピネフリン製剤	1
	コルチゾン系製剤	1
	フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤	1
	プレドニゾン系製剤	4
計		7
その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	すい臓ホルモン剤	1
計		1
その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	ナフトピジル ^{注3)}	1
計		1
化膿性疾患用剤	外用抗生物質製剤	1
計		1
鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	その他の鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	1
計		1
寄生性皮膚疾患用剤	イミダゾール系製剤	1
計		1
ビタミン剤 ^{注2)}	ビタミン剤 ^{注4)}	1
計		1
ビタミンA及びD剤	合成ビタミンD製剤	1
計		1
ビタミンB剤（ビタミンB1剤を除く。）	パントテン酸系製剤	2
計		2
ビタミンK剤	メナテトレノン ^{注3)}	1
計		1
混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）	その他の混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）	1
計		1
糖類剤	ブドウ糖製剤	2
計		2
たん白アミノ酸製剤	その他のたん白アミノ酸製剤	1
計		1

血液代用剤	生理食塩液類	1
	その他の血液代用剤	6
計		7
止血剤	抗プラスミン剤	1
計		1
血液凝固阻止剤	ジクマロール系製剤	2
計		2
その他の血液・体液用薬	他に分類されない血液・体液用薬	7
計		7
解毒剤	その他の解毒剤	1
計		1
痛風治療剤	アロプリノール製剤	2
計		2
酵素製剤	その他の酵素製剤	5
計		5
糖尿病用剤	スルフォニル尿素系製剤	2
計		2
他に分類されない代謝性医薬品	他に分類されないその他の代謝性医薬品	6
計		6
抗ヒスタミン剤	フェノチアジン系製剤	1
	その他の抗ヒスタミン剤	6
計		7
その他のアレルギー用薬	フマル酸ケトチフェン ^{注3)}	1
	モンテルカストナトリウム ^{注3)}	1
計		2
漢方製剤 ^{注2)}	葛根湯 ^{注3)}	1
	桂枝湯 ^{注3)}	1
	小柴胡湯 ^{注3)}	1
	麻黄湯 ^{注3)}	2
計		5
その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品 ^{注2)}	大黄 ^{注4)}	1
計		1
主としてグラム陽性菌に作用するもの	リンコマイシン系抗生物質製剤	1
計		1
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	ペニシリン系抗生物質製剤	5
	セフェム系抗生物質製剤	17
	ホスホマイシン製剤	1
	その他の主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	3
計		26

主としてグラム陽性菌、 マイコプラズマに作用す るもの	エリスロマイシン製剤	1
	キタサマイシン製剤	1
	その他の主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	6
計		8
主としてグラム陽性・陰 性菌、リケッチア、クラ ミジアに作用するもの	テトラサイクリン系抗生物質製剤	2
計		2
合成抗菌剤	ピリドンカルボン酸系製剤	2
計		2
血液製剤類	血漿分画製剤	2
計		2
抗原虫剤	その他の抗原虫剤	1
計		1
Unknown drug (不明薬) 注5)		9

注1) 医薬品データファイルVer2008.04.21を使用した

注2) 薬効中分類

注3) 一般名

注4) 医師記載名

注5) 併用薬剤のうち、医薬品コードの特定されていないもの

死亡症例(原因不明) 主な併用薬剤の内訳

催眠鎮静剤, 抗不安剤	ベンゾジアゼピン系製剤				2
	バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤				1
計					3
抗てんかん剤	その他の抗てんかん剤				1
計					1
解熱鎮痛消炎剤	アニリン系製剤				14
	ピラゾロン系製剤				2
	インドメタシン製剤				1
	フェニル酢酸系製剤				1
	塩基性消炎鎮痛剤				1
	その他の解熱鎮痛消炎剤				12
	パフアリン ^{注4)}				1
計					32
抗パーキンソン剤	アマンタジン製剤				1
	ビペリデン製剤				2
	その他の抗パーキンソン剤				1
計					4
精神神経用剤	フェノチアジン系製剤				2
	その他の精神神経用剤				4
計					6
総合感冒剤	非ピリン系感冒剤 (2) ^{注3)}				1
	非ピリン系感冒剤 (4) ^{注3)}				7
計					8
その他の中枢神経系用薬	タルチレリン水和物 ^{注3)}				1
計					1
鎮けい剤	その他の鎮けい剤				1
計					1
耳鼻科用剤	耳鼻科用抗生物質製剤				1
計					1
強心剤	ジギタリス製剤				1
	カフェイン系製剤				1
計					2
不整脈用剤	その他の不整脈用剤				1
計					1

消化器系薬		数
血圧降下剤	その他の血圧降下剤	4
計		4
血管拡張剤	冠血管拡張剤	2
計		2
高脂血症用剤	その他の高脂血症用剤	2
計		2
その他の循環器官用薬	沈降炭酸カルシウム ^{注3)}	1
計		1
鎮咳剤	デキストロメトर्फェン製剤	1
	その他の鎮咳剤	4
計		5
去たん剤	システイン系製剤	2
	ブロムヘキシシン製剤	2
	その他の去たん剤	7
計		11
鎮咳去たん剤	その他の鎮咳去たん剤	5
計		5
気管支拡張剤	キサンチン系製剤	1
	サルブタモール製剤	1
	その他の気管支拡張剤	7
計		9
止しゃ剤、整腸剤	活性生菌製剤	3
	その他の止しゃ剤、整腸剤	1
計		4
消化性潰瘍用剤	H ₂ 遮断剤	5
	その他の消化性潰瘍用剤	9
計		14
健胃消化剤	その他の健胃消化剤	3
計		3
制酸剤	無機塩製剤	2
計		2
下剤、浣腸剤	植物性製剤	1
計		1
利胆剤	胆汁酸製剤	1
計		1
その他の消化器官用薬	他に分類されない消化器官用薬	3
計		3
副腎ホルモン剤	エピネフリン製剤	1
	フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤	1
	プレドニゾン系製剤	2
計		4

その他のホルモン剤（抗 ホルモン剤を含む。）	すい臓ホルモン剤	1
計		1
その他の泌尿生殖器官及 び肛門用薬	ナフトピジル ^{注3)}	1
計		1
化膿性疾患用剤	外用抗生物質製剤	1
計		1
鎮痛，鎮痒，収斂，消炎 剤	その他の鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	1
計		1
寄生性皮膚疾患用剤	イミダゾール系製剤	1
計		1
ビタミン剤 ^{注2)}	ビタミン剤 ^{注4)}	1
計		1
ビタミンB剤（ビタミン B 1 剤を除く。）	パントテン酸系製剤	2
計		2
ビタミンK剤	メナテトレノン ^{注3)}	1
計		1
糖類剤	ブドウ糖製剤	1
計		1
たん白アミノ酸製剤	その他のたん白アミノ酸製剤	1
計		1
血液代用剤	その他の血液代用剤	3
計		3
止血剤	抗プラスミン剤	1
計		1
血液凝固阻止剤	ジクマロール系製剤	1
計		1
その他の血液・体液用薬	他に分類されない血液・体液用薬	4
計		4
解毒剤	その他の解毒剤	1

計		1
痛風治療剤	アロプリノール製剤	1
計		1
酵素製剤	その他の酵素製剤	5
計		5
糖尿病用剤	スルフォニル尿素系製剤	1
計		1
他に分類されない代謝性医薬品	他に分類されないその他の代謝性医薬品	4
計		4
抗ヒスタミン剤	フェノチアジン系製剤	1
	その他の抗ヒスタミン剤	6
計		7
その他のアレルギー用薬	フマル酸ケトチフェン ^{注3)}	1
計		1
漢方製剤 ^{注2)}	麻黄湯 ^{注3)}	1
計		1
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	ペニシリン系抗生物質製剤	4
	セフェム系抗生物質製剤	9
	ホスホマイシン製剤	1
	その他の主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	1
計		15
主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	エリスロマイシン製剤	1
	キタサマイシン製剤	1
	その他の主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	2
計		4
合成抗菌剤	ピリドンカルボン酸系製剤	2
計		2
血液製剤類	血漿分画製剤	2
計		2
Unknown drug (不明薬) ^{注5)}		8

注1) 医薬品データファイルVer2008.04.21を使用した

注2) 薬効中分類

注3) 一般名

注4) 医師記載名

注5) 併用薬剤のうち、医薬品コードの特定されていないもの

死亡症例(全例) 既往症・合併症

喘息様気管支炎	1		1
気管支炎		2	2
急性気管支炎	2	1	3
胃腸炎	1		1
B型肝炎	1		1
H I V感染		1	1
A型インフルエンザウイルス感染	1		1
インフルエンザ ^{注2)}		1	1
感冒		1	1
急性咽頭炎		1	1
咽頭炎		2	2
肺炎		2	2
急性肺炎	1		1
肺結核	1		1
肺結核(左上葉切除) ^{注2)}	1		1
破傷風	1		1
結核	1		1
結核後遺症		1	1
陳旧性結核	1		1
尿路感染	1		1
水痘	1		1
ウイルス性心膜炎		1	1
仮性クレーブ		1	1
血管免疫芽球性T細胞性リンパ腫		1	1
胃癌	1		1
悪性リンパ腫	1		1
中耳の悪性新生物		1	1
卵巣嚢腫		1	1
副腎新生物	1		1
D I C		1	1
汎血球減少症		1	1
クッシング症候群	1		1

病名	登録数	合算数	合計
甲状腺機能低下		1	1
糖尿病		8	8
境界型糖尿病	1		1
痛風	1		1
肥満		1	1
高脂血症		1	1
不眠症		1	1
統合失調症		1	1
脳梗塞	2	2	4
脳梗塞後遺症		1	1
糖尿病性昏睡	1		1
下肢両麻痺		1	1
インフルエンザ脳症		1	1
てんかん		2	2
熱性痙攣	1		1
頭痛		1	1
精神遅滞		1	1
アルツハイマー型認知症		1	2
下肢麻痺	1		1
ラクナ梗塞		1	1
緑内障		1	1
難聴	1		1
狭心症		1	1
大動脈弁狭窄		1	1
不整脈	1	2	3
心房細動	1	3	4
発作性心房細動		2	2
完全房室ブロック	2	1	3
第一度房室ブロック		1	1
心不全		1	1
慢性心不全		2	2
うっ血性心不全	1	1	2
期外収縮		1	1
僧帽弁閉鎖不全症	1	1	2
三尖弁閉鎖不全症	1		1

薬剤名	例年	合計	合計
冠動脈不全		1	1
拡張型心筋症		1	1
心臓弁膜症		1	1
心筋梗塞	1		1
高血圧性心疾患		1	1
本態性高血圧症		1	1
高血圧	1	12	13
高血圧症 ^{注2)}	1		1
喘息		1	1
気管支喘息	1	1	2
慢性気管支炎		2	2
慢性呼吸不全		1	1
喉頭痙攣		1	1
睡眠時無呼吸症候群	1		1
痔瘻	1		1
直腸障害		1	1
便秘		1	1
クローン病	1		1
十二指腸潰瘍	1		1
慢性胃炎		2	2
胃炎		1	1
麻痺性イレウス		1	1
混合型鼠径ヘルニア	1		1
慢性膵炎	1	1	2
逆流性食道炎	1		1
アルコール性膵炎	1		1
慢性肝炎	1	1	2
肝機能障害		1	1
急性肝炎	1		1
アルコール性肝炎	1		1
光線過敏症	1		1
腰部脊柱管狭窄症		1	1
廃用性骨粗鬆症		1	1
骨粗鬆症		1	1
下肢の変形	1		1

慢性腎炎		1	1
腎不全		1	1
慢性腎不全		1	1
膀胱障害		1	1
腎機能低下		1	1
糖尿病性腎症		1	1
前立腺肥大症	1	1	2
脳性麻痺		1	1
筋強直性ジストロフィー		1	1
ダウン症候群		1	1
活動状態低下		1	1
血清クレアチンホスホキナーゼ増加		1	1
大腿骨頰部骨折	1		1
事故による外傷	1		1
硬膜下血腫	1		1

注1). 一部を除きMedDRA/J Version11.0 下位語 (LLT) を使用した

注2). 医師記載名称

死亡症例(原因不明) 既往症・合併症

既往症・合併症	症例数	死亡数	割合
喘息様気管支炎	1		1
気管支炎		2	2
急性気管支炎	2	1	3
胃腸炎	1		1
B型肝炎	1		1
H I V感染		1	1
A型インフルエンザウイルス感染	1		1
感冒		1	1
急性咽頭炎		1	1
咽頭炎		1	1
肺炎		2	2
急性肺炎	1		1
破傷風	1		1
結核後遺症		1	1
陳旧性結核	1		1
尿路感染	1		1
水痘	1		1
ウイルス性心膜炎		1	1
仮性クレーブ		1	1
血管免疫芽球性T細胞性リンパ腫		1	1
胃癌	1		1
悪性リンパ腫	1		1
中耳の悪性新生物		1	1
卵巣嚢腫		1	1
副腎新生物	1		1
D I C		1	1
汎血球減少症		1	1
クッシング症候群	1		1
糖尿病		2	2
痛風	1		1
肥満		1	1
統合失調症		1	1

脳梗塞	2		2
脳梗塞後遺症		1	1
糖尿病性昏睡	1		1
下肢両麻痺		1	1
インフルエンザ脳症		1	1
てんかん		1	1
熱性痙攣	1		1
頭痛		1	1
下肢麻痺	1		1
ラクナ梗塞		1	1
難聴	1		1
大動脈弁狭窄		1	1
不整脈	1	1	2
心房細動		1	1
発作性心房細動		1	1
第一度房室ブロック		1	1
心不全		1	1
慢性心不全		2	2
うっ血性心不全	1		1
期外収縮		1	1
僧帽弁閉鎖不全症	1		1
三尖弁閉鎖不全症	1		1
冠動脈不全		1	1
心臓弁膜症		1	1
高血圧	1	4	5
喘息		1	1
気管支喘息		1	1
慢性気管支炎		1	1
慢性呼吸不全		1	1
喉頭痙攣		1	1
睡眠時無呼吸症候群	1		1
痔瘻	1		1
直腸障害		1	1
クローン病	1		1
十二指腸潰瘍	1		1

疾患	頻度	有病率	有病率
胃炎		1	1
痙攣性イレウス		1	1
混合型単径ヘルニア	1		1
慢性膵炎	1		1
逆流性食道炎	1		1
アルコール性膵炎	1		1
慢性肝炎	1		1
肝機能障害		1	1
急性肝炎	1		1
アルコール性肝炎	1		1
光線過敏症	1		1
腰部脊柱管狭窄症		1	1
廃用性骨粗鬆症		1	1
骨粗鬆症		1	1
下肢の変形	1		1
腎不全		1	1
慢性腎不全		1	1
膀胱障害		1	1
腎機能低下		1	1
前立腺肥大症		1	1
筋強直性ジストロフィー		1	1
ダウン症候群		1	1
活動状態低下		1	1
血清クレアチンホスホキナーゼ増加		1	1
事故による外傷	1		1

注) MedDRA/J Version11.0 下位語 (LLT) を使用した